



2019年4月20日

各位

会社名 株式会社 マルマエ
代表者名 代表取締役社長 前田 俊一
(コード番号: 6264 東証第一部)
問合せ先 取締役管理本部長 古江 博
(TEL. 0996-68-1140)

2019年3月度 月次受注残高についてのお知らせ

当社は、投資家をはじめとするステークホルダーの方々に、より正確に当社を理解していただくために、自社情報のタイムリー・ディスクロージャーを推進しておりますが、その一環として、下記のとおり2019年3月度の月次受注残高を開示いたします。

記

1. 月次受注残高

(百万円未満切捨て)

区分	受注残高	割合	対前月増減率	対前年同月増減率
半導体分野	490	73.8%	7.0%	△37.9%
FPD分野	169	25.6%	7.7%	△47.4%
その他分野	3	0.6%	△16.2%	△49.0%
合計	663	100.0%	7.0%	△40.7%

2. 月次受注残高の推移

(百万円未満切捨て)

区分	2018/4	2018/5	2018/6	2018/7	2018/8	2018/9
半導体分野	814	785	811	741	675	606
FPD分野	362	360	344	322	239	147
その他分野	6	10	8	7	37	22
合計	1,183	1,156	1,165	1,071	953	776

区分	2018/10	2018/11	2018/12	2019/1	2019/2	2019/3
半導体分野	571	534	540	521	458	490
FPD分野	158	174	164	174	157	169
その他分野	3	26	4	4	4	3
合計	733	736	709	701	620	663

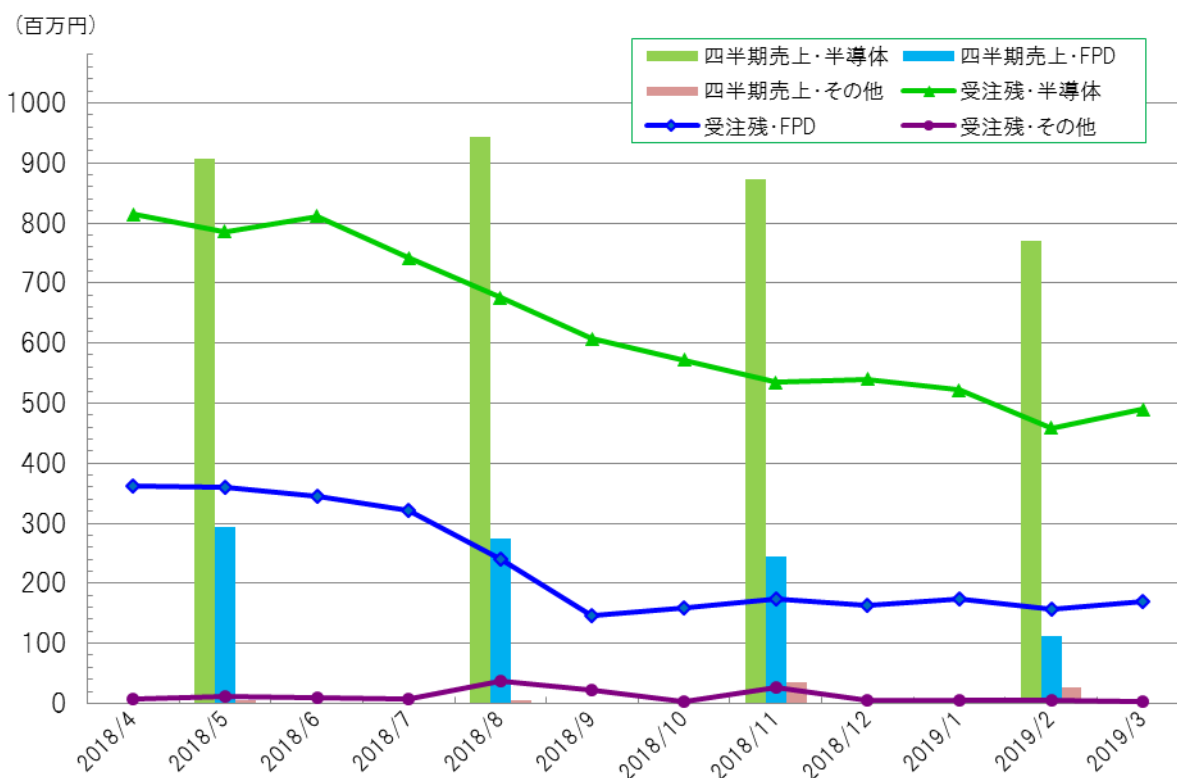
3. 月次受注残高の概況

2019年3月末の受注残高は、半導体分野においては、受注は低水準ながらも回復傾向にあり、対前月増減率は7.0%増、対前年同月増減率では37.9%減の490百万円となりました。FPD分野においても、受注に回復傾向があり、対前月増減率は7.7%増、対前年同月増減率では47.4%減の169百万円となりました。その他分野においては、大きな変化はありませんでした。これらの結果、2019年3月末の受注残高は、対前月増減率7.0%増、対前年同月増減率40.7%減の663百万円となりました。

今後の見通しにつきましては、半導体分野では、ロジック向けの回復が続くなか、メモリ向けの部品需要が高まっており、全体的に回復傾向が出始める見通しを持っております。ただし、一部の顧客については部品の在庫を多く抱えている模様であり、客先によってまだら模様の回復が予想されます。FPD分野では、中国での中小型有機EL製造装置の引き合いが出ており、当期第4四半期から受注が回復し始める見通しを持っております。その他分野につきましては、当社生産キャパの空きを活用し、太陽電池向けの量産品受注に向けた営業活動を行っており、当期第3四半期から受注が拡大する見通しを持っております。

以 上

(参考：分野別 過去一年間の四半期売上高と月次受注残高の推移)



注1. 上記受注残高の数値は、速報値であるため、翌月以降に修正される可能性があります。また、監査法人による会計監査を受けておりませんので、本決算の数値とは差異が発生する可能性があります。

注2. 当社の受注残数値は、受注別に長短さまざまなリードタイムを持つことから、売上高と直接関連するものではありません。リードタイムの長い案件が増えると受注残が多くなり、リードタイムが短く当社月間生産能力範囲内の受注が増えると受注残が減る傾向となっております。